

2021年3月期 第2四半期決算説明(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外のCKD中国工場の現在の状況

A: 東北工場は、稼働が上がってきており、今後は需要増加を受けて徐々に上がってくるとみております。春日井工場は、比較的高い水準で稼働しています。こちらも今後上がってくるとみております。空気圧機器を生産している四日市工場の稼働は高い水準が続いております。CKD中国工場は、中国市場がコロナウイルス感染症の影響から回復しており、高い稼働状況です。

Q: 現在および来年度にかけての半導体投資環境をどのようにみているのか。

A: メモリー向けは2Qに遅延し、4Qから上がってくるとみておりましたが、現在は、投資の前倒しを期待しています。ロジックは引き続き堅調に推移し、来年度にかけても堅調に投資が続くとみております。

Q: 中国における流体制御機器の取り組み

A: CKD中国工場では、既存の生産棟で稼働しているクリーンルームにて流体制御機器を生産しております。また、新生産棟にはクリーンルームを増床するスペースを確保しております。営業活動をしっかり行い、CKDブランドを広めるよう取り組んでまいります。

Q: 二次電池製造工程向け空気圧機器の状況

A: 電気自動車やハイブリッド関連の環境対応車用設備が動いてくるお話が入ってきております。日本国内および中国で継続して空気圧機器をお使い頂いております。

Q: 欧州における二次電池製造工程向け空気圧機器の見通し

A: 電池を製造しているメーカーは欧州の現地メーカーに加えて、中国から欧州へ出ていくメーカーもあるため、十分採用いただけるチャンスがあると考えております。

Q: 自動機械 リチウムイオン電池用巻回機の状況

A: リチウムイオン電池用巻回機は国内中心に活動しております。来期以降につながるお話を頂いております。

Q: 人員の変化と生産性向上の取り組み

A: 1年前と比べて、需要に合わせて人員を増やしてきましたが、適正な人数です。今後も柔軟に対応してまいります。また、組立や検査などの省人化・自動化への取り組みを継続して進めるとともに、サプライチェーンを活用しながら安定的な稼働への対応に取り組んでおります。

Q: CKD日機電装との取り組み

A: CKD日機電装の商品には高精度なダイレクトドライブモータがあり、その技術・商品の強みを最大限活かした取り組みを進めております。弊社の販売網を活用し、お客様と開発した新たな商品を出していけると考えております。また、すでに、弊社の海外工場を活用して生産を始めるなどプラスの効果が出ております。

Q:北米新生産拠点の事業展望

A:米国で売上拡大を目指すため、現地で生産拠点を立ち上げる時期を模索しておりました。需要の伸びが期待できるこの機会に、米国に新しく生産拠点を構える判断をいたしました。事業規模については、最初はゆっくりと広げていき、その後は加速していくとみております。